

薬局薬剤師と病院薬剤師の合同ワークショップ

福岡県および福岡大学病院における薬薬連携の取り組み

福岡大学薬学部・福岡大学病院薬剤部

神村 英利

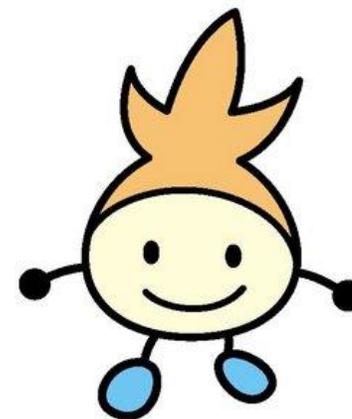
TEL:092-801-1011 ・ FAX:092-862-8800

e-mail:kamisan@fukuoka-u.ac.jp

本講演に関する利益相反 なし

本日の内容

1. 外来患者に対する薬薬連携
 - ・検査値印字処方箋
 - ・外来がん化学療法
 - ・院外処方 of 包括的事前合意プロトコル
 - ・バイオシミラー切り替え
 - ・リフィル処方箋
2. 入院患者に対する薬薬連携
 - ・服薬情報等提供料3
 - ・退院時薬剤情報連携加算



ニッコリン(油山の妖精)
福岡市城南区シンボルキャラクター
好きなもの みんなの笑顔

福岡大学病院 検査値印字処方箋

処方箋

処方箋引換番号: 3238

(この処方箋は、どの保険薬局でも有効です。) ページ (2/3)

公費負担者番号		保険者番号	9
公費負担医療の受給者番号		被保険者証・被保険者手帳の記号・番号	

患者ID 診療科 循環器科 08 〒 814 - 0180
 フリガナ 保険医療機関の 福岡市城南区七隈七丁目45番1号
 氏名 所在地及び名称 福岡大学病院
 生年月日 昭和35年10月12日 電話番号 092-801-1011
 年齢 61歳 性別 男 保険医氏名 加藤 悠太
 区分 被保険者 都道府県番号 40 点数表番号 1 医療機関コード 1119445

交付年月日	令和4年06月30日	処方箋の使用期間	令和4年07月03日	特に記載のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局へ提出してください。
-------	------------	----------	------------	--

変更不可 [個々の処方薬について、後発医薬品（ジェネリック医薬品）への変更が差支えがあると判断した場合には、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。]

処 方

2) カルベジロール錠 10mg 「サワイ」 1錠 (1日 1錠) 1錠
 カルベジロール錠 2.5mg 「サワイ」 3錠
 1回 1.5錠 (1日 3錠)
 ビモベンダン錠 1.25mg 「TE」 2錠
 1回 1錠 (1日 2錠)
 経口・1日2回 朝・夕食後 49日分

3) マグミット錠 330mg 3錠
 1回 1錠 (1日 3錠)
 経口・1日3回 朝・昼・夕食後 49日分

4) フランドルテープ 40mg/枚 1枚
 貼付・1日1回 就寝前 49日分

サワイ可 () 次ページへ続く

保険薬局が調剤時に残薬を確認した場合の対応 (特に指示がある場合は「レ」又は「×」を記載すること。)
 保険医療機関へ疑義照会した上で調剤 保険医療機関へ情報提供

電話番号: 0926723688
 福岡県福岡市東区城浜団地39-306

「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載した場合は、署名又は記名・押印すること。

保険医署名 印
 麻薬施用者番号

調剤実施回数 (調剤回数に応じて、□に「レ」又は「×」を記載するとともに、調剤日及び次回調剤予定日を記載すること。)
 1回目調剤日 (年 月 日) 2回目調剤日 (年 月 日) 3回目調剤日 (年 月 日)
 次回調剤予定日 (年 月 日) 次回調剤予定日 (年 月 日)

調剤済年月日	令和 年 月 日	公費負担者番号	
保険薬局の所在地及び名称		公費負担医療の受給者番号	
保険薬剤師氏名			

【問い合わせ先 (保険薬局用)】 福岡大学病院院外処方案内コーナー TEL: 092-874-6256 FAX: 092-874-6258 2/4

検査値

検査項目	検査日	結果値	基準値
WBC	2022/06/30	6.3	3.3-8.6(10 ³ /μL)
Neut	2022/05/12	75.3	50.0-70.0(%)
Hb	2022/06/30	9.5	男性: 13.7-16.8、女性: 11.6-14.8(g/dL)
Plt	2022/06/30	273	158-348(10 ³ /μL)
PT-INR			
AST	2022/06/30	14	13-30(U/L)
ALT	2022/06/30	8	男性: 10-42、女性: 7-23(U/L)
T-Bil	2022/06/30	1.0	0.4-1.5(mg/dL)
血清Cr	2022/06/30	1.08	男性: 0.65-1.07、女性: 0.46-0.79(mg/dL)
eGFR	2022/06/30	54.8	≥90(mL/min/1.73m ²)
CK	2022/06/30	120	男性: 59-248、女性: 41-153(U/L)
CRP	2022/06/30	0.02	≤0.14(mg/dL)
K	2022/06/30	4.0	3.6-4.8(mmol/L)
HbA1c			4.9-6.0(%)

身長	体重	体表面積
163.40 cm	50.50 kg	1.531 m ²
測定日 2022/01/17	測定日 2022/02/14	

【身体情報】

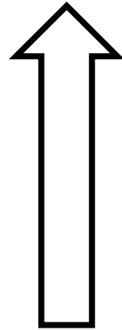
【通信欄】



薬物の副作用

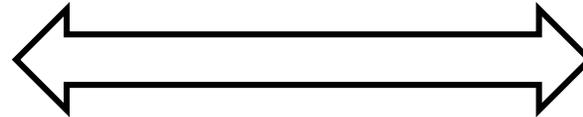
分類	用量相関性	予見性
中毒性	あり	あり
アレルギー性	なし	なし

未然防止
早期発見
重篤化回避



臨床検査値

相補的に
関連付けて考える



薬歴
患者の訴え
一般状態

薬局における検査値に基づく薬学的管理の例

72歳 女性 重症筋無力症・脂質異常症・C型慢性肝炎で通院中

福岡大学病院薬剤部 ご担当者様

平素より大変お世話になっております。

9月2日の来局時に、〇〇様から「肝機能はずっと悪くないのに、ウルソデオキシコール酸を飲み続けなければいけないのですか。なるべく薬を減らしたいのですが」と、減薬の相談がありましたので、報告します。

今回から、プレドニゾロンが増量になりましたので、肝機能の悪化防止のために、ウルソデオキシコール酸の内服が必要であることを説明し、納得されました。

しかしながら、**処方箋に記載された肝機能データは数カ月間、異常がない状態が続いています。**

つきましては、次回受診時の肝機能によっては、ウルソデオキシコール酸の減量または中止をご検討いただきますように、お願いいたします。

●●薬局 薬剤師 □□■

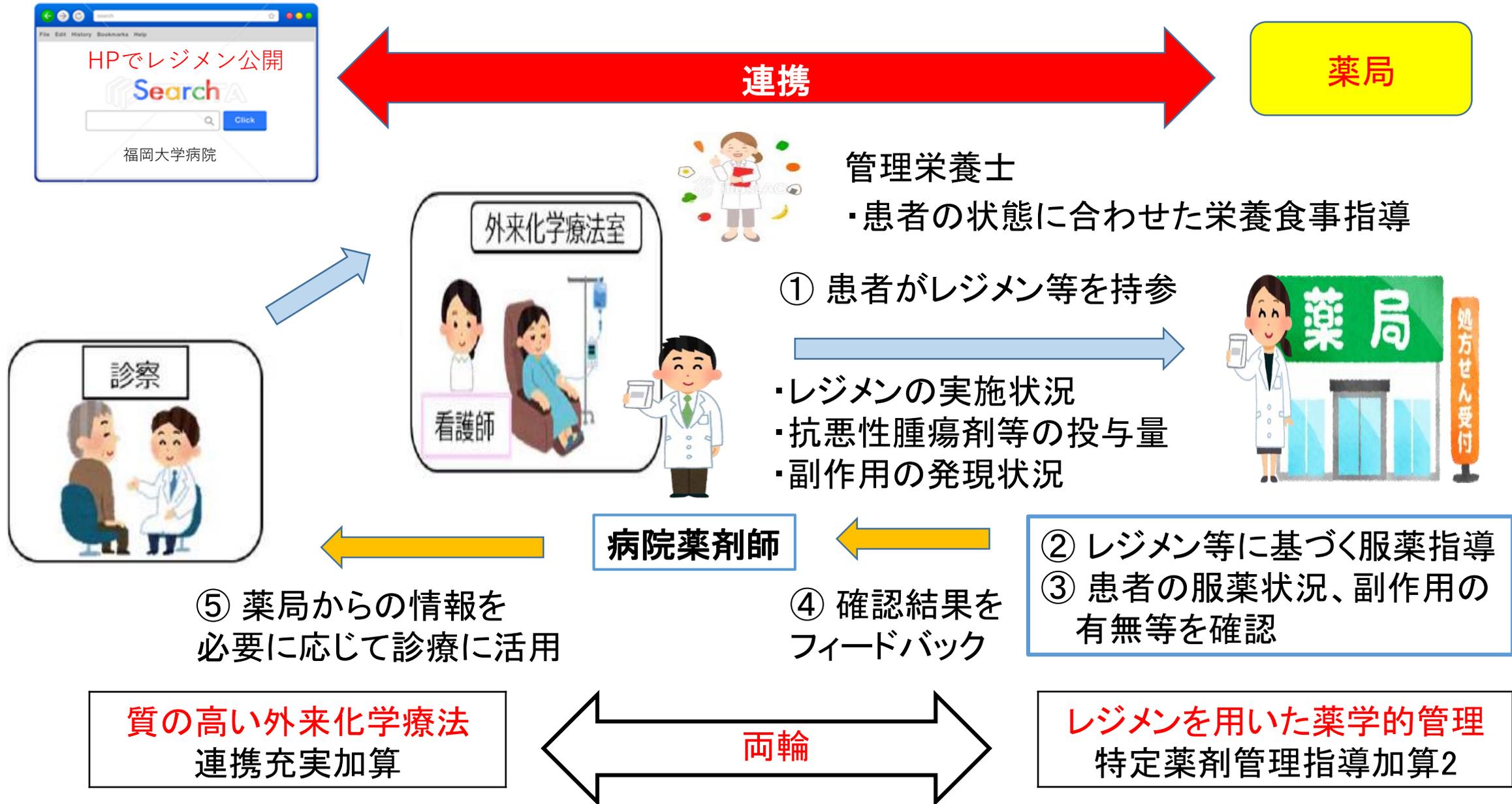
福岡大学病院 連携No.264



10月28日 肝機能を確認後、ウルソデオキシコール酸中止

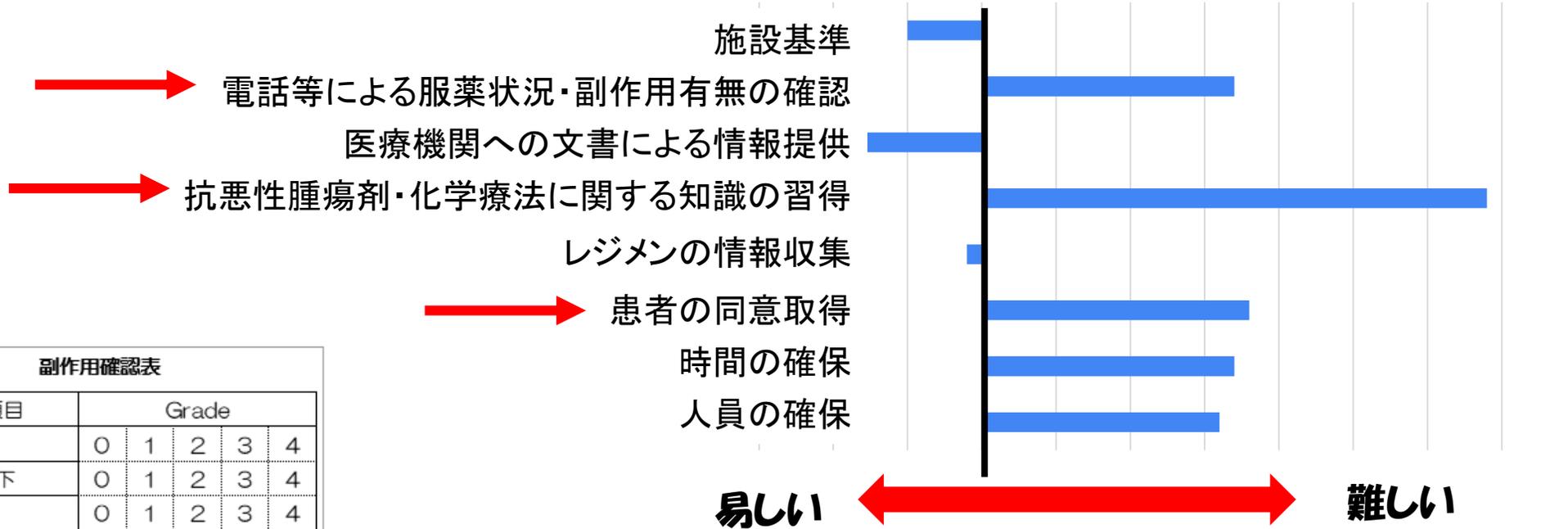
以後、肝機能の増悪なし

外来がん化学療法の質向上のための総合的な取り組み



特定薬剤管理指導加算2

福岡大学病院近隣薬局における算定要件・施設基準達成の難易度 (n = 59)



第1回病診薬研修会 (2020年8月19日)

改善策

- ・研修会の開催
- ・テレフォントラッキングシートの作成
- ・担当薬剤師が
 - 1) 患者にテレフォントラッキングシートについて説明・同意取得
 - 2) 実施時期の目安を副作用確認表に記載

確認項目	Grade				
	0	1	2	3	4
1. PS	0	1	2	3	4
2. 食欲低下	0	1	2	3	4
3. 悪心	0	1	2	3	4
4. 味覚異常	0	1	2	3	4
5. 口腔粘膜炎	0	1	2	3	4
6. 下痢	0	1	2	3	4
7. 便秘	0	1	2	3	4
8. 末梢神経障害	0	1	2	3	4
9. 手足症候群	0	1	2	3	4

【備考】

※Grade評価の詳細は福岡大学病院ホームページをご確認ください (福岡大学病院→薬剤部→がん化学療法レジメン)

テレフォンフォローアップシート (XELOX±Bevacizumab療法)

		XELOX + Bevacizumab療法 ()コース日																					
		Day 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
副作用	ゼロータ服用期間	頻度-(%)																					
	自覚所見	頻度-(%)																					
消化器症状	発熱	—																					
	吐き気や嘔吐	45~74																					
	下痢	55																					
	便秘	31																					
	口内炎	57																					
手、足	食欲不振	90																					
	赤い・腫れ	78																					
	ひび割れ・水疱																						
	痛み																						
Bevacizumab (+)	高血圧	—																					
	頭痛	—																					
	鼻血	40																					
	血便、出血	19.4																					
間質性肺炎	時に注意する副作用	頻度-(%)																					
	咳(空咳)	0.4																					
血栓塞栓症	悪切れ(肢端、指趾)	—																					
	むくみ(手、足、顔)	—																					
消化管穿孔	めまい、ふらふら感	—																					
	締めつけられるような痛み(胸、背中)	頻度不明																					
	経験したことがない強い痛み	0.9																					

上段: 経口抗がん剤の服用期間・副作用早見表

電話予約時間	月	日	時	分	分
電話対応時間	月	日	時	分	分
対応者	<input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良 (飲み忘れ回数 回 その他:) <input type="checkbox"/> なし				
アドヒアランス	<input type="checkbox"/> あり (/)* → <input type="checkbox"/> 紅潮、多少の違和感 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 疼痛を伴う、日常生活に支障あり				
手足症状群(手・足裏)					
口内炎	<input type="checkbox"/> なし				
排便状況					
吐き気・食欲不振	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (/)* → <input type="checkbox"/> 水分、食事摂取困難 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (/)* → <input type="checkbox"/> 水分、食事摂取困難 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (/)* → 食事摂取量 %				
末梢神経障害	指導内容: () <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (/)* → <input type="checkbox"/> 日常生活に支障あり				
血圧**	指導内容: (/) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり				
その他の身体症状	<input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 咳嗽				

下段: アドヒアランス・副作用チェック表

電話番号 _____ 薬局 _____ 店 _____
FAX _____

対応薬剤師

*副作用発現開始時期
**アバスタチン併用時

症例

- 年齢: 58歳
- 性別: 女性
- 疾患名: S状結腸癌 T2N1bM0 Stage IIIa
- 治療歴: 20XX/7/1 腹腔鏡下S状結腸切除術施行
20XX/8/21～ XELOX療法による術後補助化学療法

<化学療法関連薬剤>

カペシタビン: 3000mg/day (full dose) day1-14

オキサリプラチン: 200mg/body (full dose) day1

アプレピタント: 120mg-80mg-80mg day1-3

パロノセトロン: 0.75mg day1

デキサメタゾン: 6.6mg day1

症例

保険薬局

- 20XX/10/5 XELOX療法 3コース目開始
- 20XX/10/15 3コース目day11 テレフォンプォローアップ実施

【聞き取り内容】

✓ 内服状況:問題なし

✓ 副作用

PS:0-1 食欲不振:G1 悪心:G1-2 味覚障害:G0 口腔粘膜炎:G0 下痢:G0 便秘:G0

末梢神経障害:G1 手足症候群:G0

✓ その他

1,2コース目と比較し、3コース目後は倦怠感が強かった。悪心に関しては開始後1週間は症状が強く、食事量も低下していた。今後もコースを重ねるごとに副作用が強くなるのではないか、という不安を聴取。副作用軽減のための支持療法があることを説明し、不安なことは相談するよう伝えた。

症例

医療機関

- 1,2コース目後の面談時の評価は、悪心はGrade0

医療機関が把握できていない症状
トレーシングレポートで情報提供



4コース目開始時・・・

これまでも治療開始から1週間程度は吐き気があった。
でも病院で治療する時は症状はなかったから、
その時は問題ないと伝えていました。



症例

医療機関

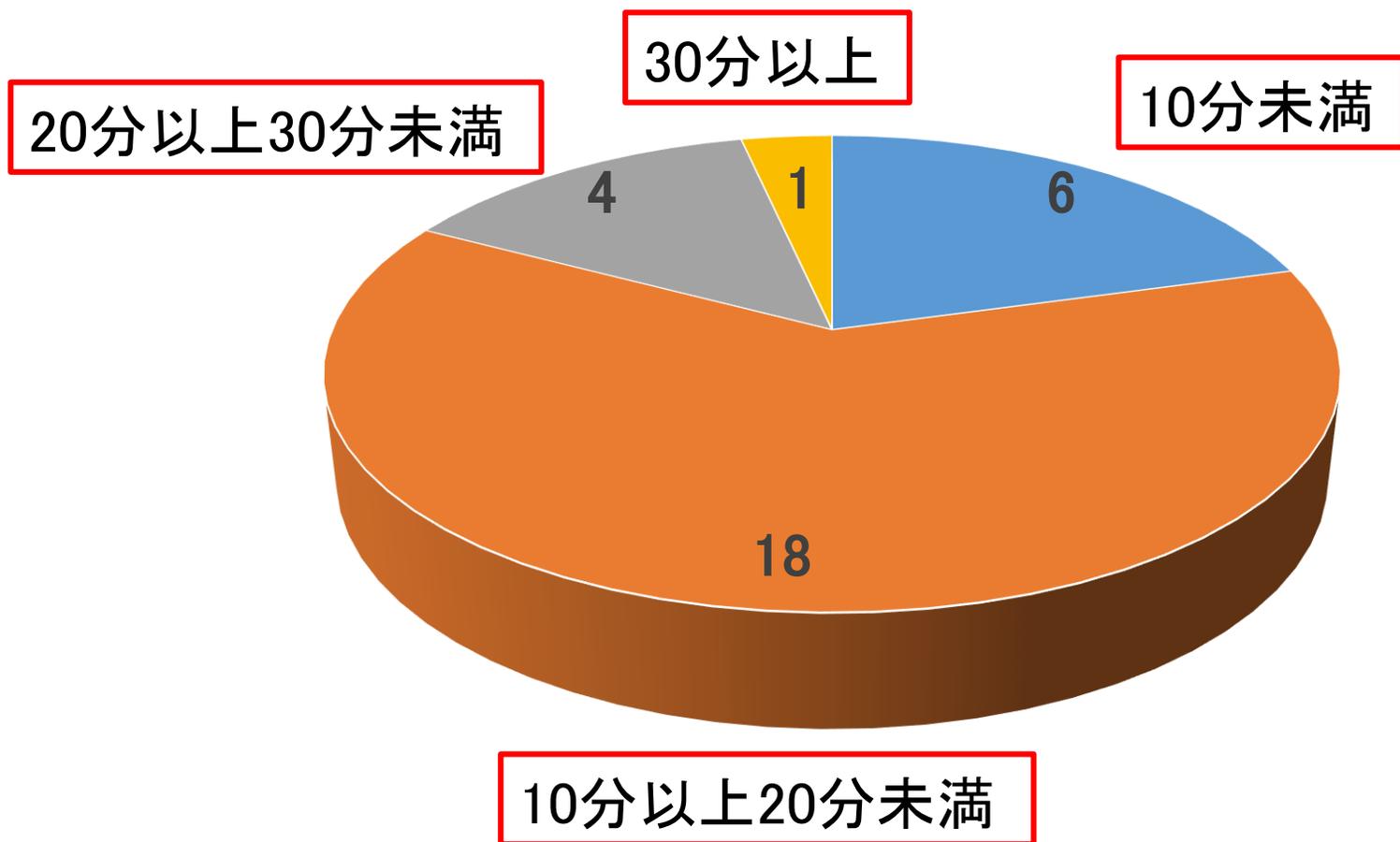
テレフォンプォローアップにより
把握できていなかった自宅と治療開始時での症状の
タイムラグに関する情報が聴取できた



主治医と制吐療法の見直しについて協議
→デキサメタゾン錠 4 mg 2T2× 朝昼食後 day2-3
メクロプラミド錠 5 mg 1T 吐き気時 処方追加

症状改善

薬局でテレフォントラッキングに要した時間



中央値 15分/件

医師の評価

わずか15分程度で、医療機関が把握していない情報を聞き出していただいております、
ありがとうございます

福岡大学病院 がんセンター長

変更調剤の禁止・疑義照会の権利&義務



薬剤師法 第23条2項

薬剤師は、処方せんに記載された医薬品につき、その処方せんを交付した医師、歯科医師又は獣医師の同意を得た場合を除くほか、これを変更してはならない。



薬剤師法 第24条

薬剤師は、処方せん中に疑わしい点があるときは、その処方せんを交付した医師、歯科医師又は獣医師に問い合わせて、その疑わしい点をかめた後でなければ、これによって調剤してはならない。

全国薬局疑義照会調査(平成27年度)

21.9% ←

78.1% ←

疑義照会 8,136件/処方箋 297,086枚

疑義照会

1. 形式的
2. 医学・薬学的

院外処方^oの包括的事前合意プロトコルの法的根拠と目的

【端緒となる通知】

厚生労働省医政局長通知(医政発0430第1号、2010年)
「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」

2-(1)-1) 薬剤師を積極的に活用することが可能な業務

以下に掲げる業務については、現行制度の下において薬剤師が実施することかできることから、**薬剤師を積極的に活用することが望まれる。**

- ① 薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダーについて、**医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコル**に基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること。

【目的】

医療機関が調剤上の**形式的な疑義照会に事前合意**することで、

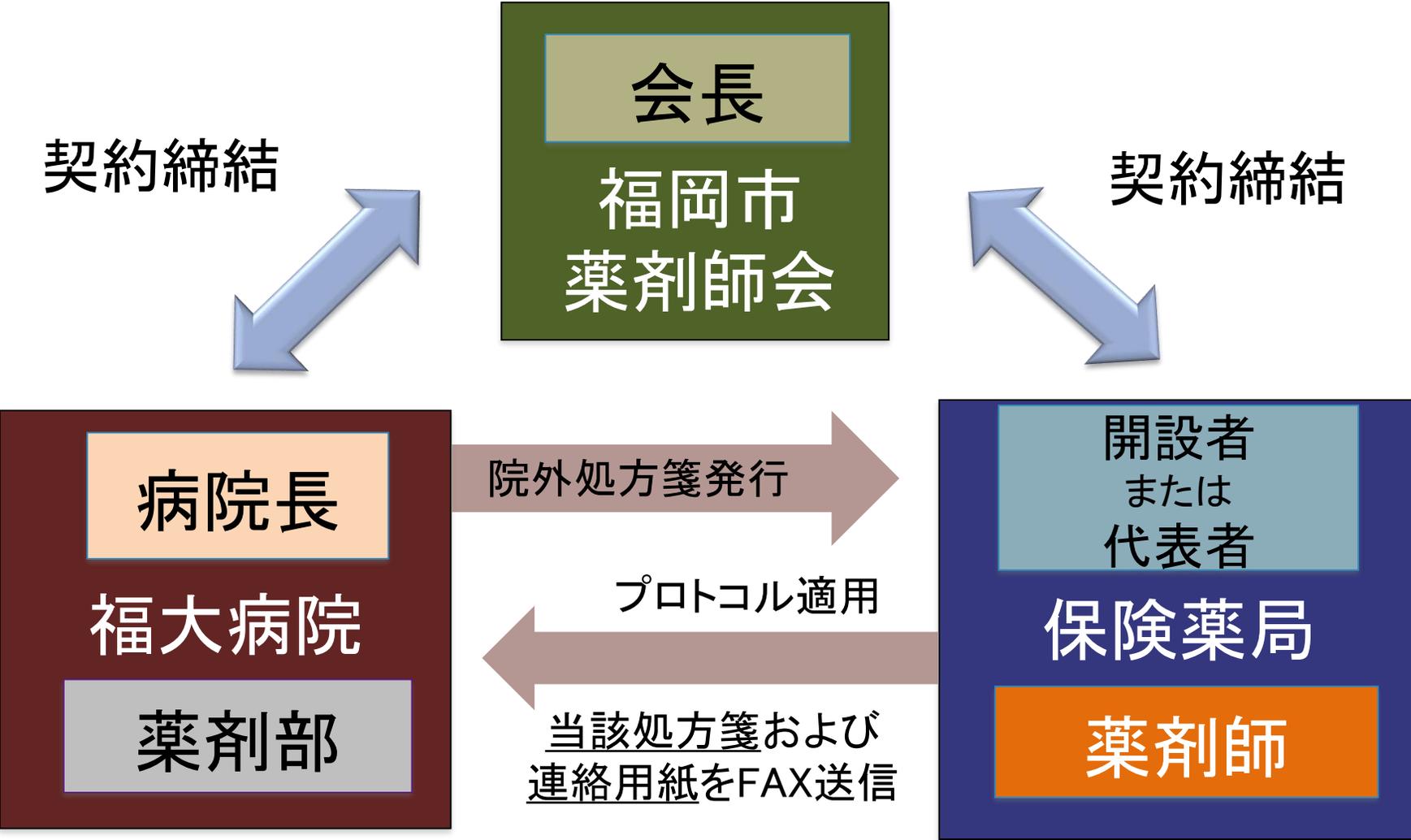
1. **処方医の負担軽減**
2. 保険薬局での待ち時間短縮(患者サービスの向上)
3. 医学・薬学的ケアの充実を図る

福岡大学病院の院外処方包括的事前合意プロトコル

- ①成分名が同一である先発品/後発品の銘柄変更
- ②内服薬の剤形の変更
- ③別規格製剤がある場合の処方規格の変更(ワーファリン、チラーヂンSを除く)
- ④湿布薬や軟膏での包装単位変更
- ⑤残薬調整のための内服薬・外用薬の日数短縮(ハイリスク薬を含む)
- ⑥一般名処方における別規格・類似剤形の先発品への変更
- ⑦患者の希望等で行う半割、粉碎、混合あるいは一包化調剤
- ⑧週1回あるいは月1回内服のビスホスホネート製剤およびDPP-4阻害剤の処方日数の適正化
- ⑨患者の希望等で行う消炎鎮痛外用剤における、パップ剤からテープ剤への変更、またはその逆
- ⑩消炎鎮痛剤外用剤における貼付剤の合計処方量とコメントでの指示枚数が異なる場合の適正化
- ⑪外用剤の用法(適用回数・適用部位・適用タイミング)が口頭指示されている場合の用法追記
- ⑫患者の希望等で行うエンシュア・H/ラコール/イノラスなどの成分栄養剤における味の変更
- ⑬患者希望等で行うヘパリン類似物質外用泡状スプレーの製品規格に合わせた処方量の変更

*ただし、麻薬は除外する

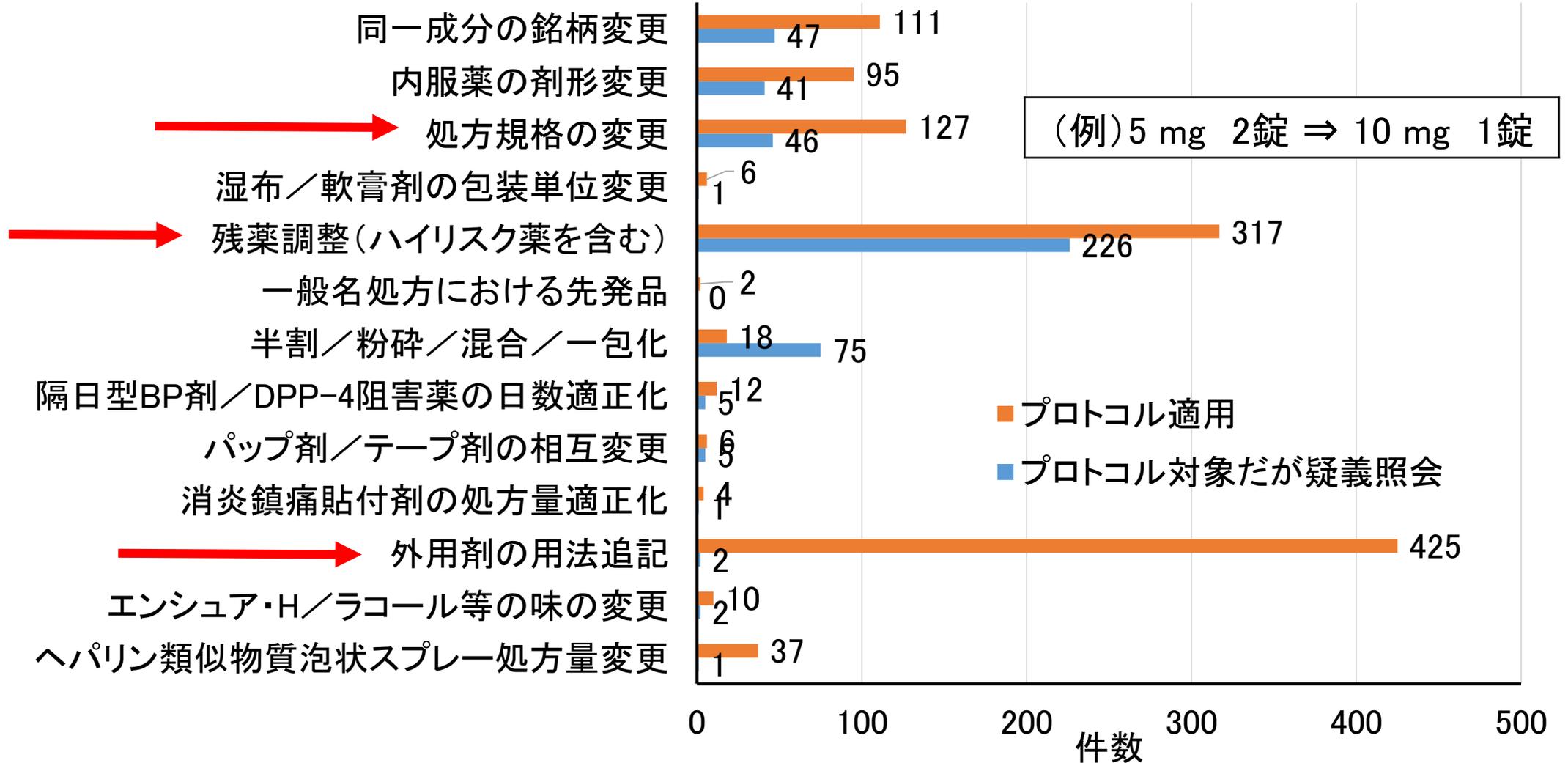
福岡大学病院における院外処方箋の包括的事前合意プロトコル運用体制



変更内容を電子カルテに入力し、次回の処方箋に反映させる

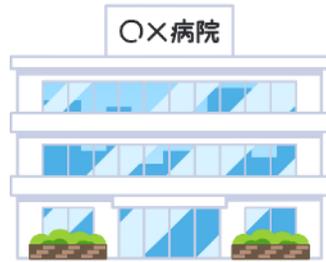
福岡大学病院における院外処方^①の包括的事前合意^②プロトコル適用件数 (2019年8月～2020年7月)

プロトコル対象 = 1,622件 (29.9%)



福岡市内の広域病院における院外処方[○]の包括的事前合意[○]プロトコル締結状況

2020年12月 2次医療圏(4エリア)に拡大



- 1. 九州大学病院
- 2. 福岡大学病院
- 3. 九州医療センター
- 4. 済生会福岡総合病院

- 1. 福岡市 薬剤師会
- 2. 糸島 薬剤師会
- 3. 糟屋 薬剤師会
- 4. 宗像 薬剤師会
- 5. 筑紫 薬剤師会



- 5. 福岡赤十字病院
- 6. 浜の町病院
- 7. 九州中央病院

北九州・筑豊・筑後地区における院外処方¹の包括的事前合意²プロトコル締結状況



地区	病院名	契約薬局
北九州	産業医科大学病院	近隣薬局(11店舗)
筑豊	田川市立病院	田川薬剤師会 非会員薬局(1店舗)
筑後	久留米大学病院 久留米大学医療センター 聖マリア病院 新古賀病院 古賀病院21 新古賀クリニック	久留米三井薬剤師会 朝倉薬剤師会 浮羽薬剤師会

【お断り】上記は神村が調べた範囲のもので、他にも運用しておられる医療機関・薬局・薬剤師会があるかもしれません

第四期医療費適正化基本方針のポイント

② 第4期計画における都道府県の目標

項目	ポイント
住民の健康の保持の推進	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診・特定保健指導の実施率の目標は、全国目標を踏まえ、それぞれ70%・45% 以下の新たな目標を追加 <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者の心身機能の低下等に起因した疾病予防・介護予防の推進 (例：高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進)
医療の効率的な提供の推進	<ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の数値目標については、まずは医薬品の安定的な供給を基本としつつ、新たな政府目標を踏まえて都道府県においても数値目標を設定することとする。 <ul style="list-style-type: none"> — 国は、骨太方針2021の「後発医薬品の数量シェアを、2023年度末までに全ての都道府県で80%以上とする」という政府目標を、「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」の議論等を踏まえ、令和5年度中に、金額ベース等の観点を踏まえて見直す。 — 都道府県計画の目標は、新たな政府目標を踏まえ、令和6年度に設定することとする <ul style="list-style-type: none"> ※ 現時点で数量シェア80%を達成していない都道府県では、当面の目標として、可能な限り早期に数量シェア80%の達成を目指すこととする 以下の新たな目標を追加 <ul style="list-style-type: none"> ① バイオ後続品 80%以上置き換わった成分数が全体の60%以上 ② 医療資源の効果的・効率的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 効果が乏しいというエビデンスがあることが指摘されている医療 (例：急性気道感染症・急性下痢症への抗菌薬処方) ✓ 医療資源の投入量に地域差がある医療 (例：白内障手術・化学療法の外來での実施、リフィル処方箋) ※ 個別の診療行為としては医師の判断に基づき必要な場合があることに留意しつつ、地域ごとに関係者が地域の実情を把握・検討し、適正化に向けて必要な取組を進める。 ③ 医療・介護の連携を通じた効果的・効率的なサービス提供の推進 (例：市町村の在宅医療・介護連携推進事業への後方支援、広域調整等の支援等)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 目標の設定に当たっては、ロジックモデル等のツールの活用も検討することとする

福岡大学病院：バイオ後続品の導入【14品目/16品目】 2022年2月現在

バイオ後続品	切り替え	先行品
1. アガルシダーゼ	×	ファブラザイム
2. アダリムマブ	△	ヒュミラ
3. インスリン アスパルト	○	ノボラピッド
4. インスリン グラルギン	○	ランタス
5. インスリン リスプロ	○	ヒューマログ
6. インフリキシマブ	△	レミケード
7. エタネルセプト	○	エンブレル
8. エポエチンアルファ	○	エスポー
9. ソマトロピン	×	ジェノトロピン
10. ダルベポエチン	○	ネスプ
11. テリパラチド	○	フォルテオ
12. トラスツズマブ	○	ハーセプチン
13. フィルグラスチム	△	グラン
14. ベバシズマブ	△	アバスチン
15. ラニビズマブ	○	ルセンティス
16. リツキシマブ	○	リツキサン

7品目/16品目で「バイオ後続品導入初期加算(150点)」が算定可能

バイオ後続品	切り替え	先行品
1. アガルシダーゼ	×	ファブラザイム
2. アダリムマブ	△	ヒュミラ
3. インスリン アスパルト	○	ノボラピッド
4. インスリン グラルギン	○	ランタス
5. インスリン リスプロ	○	ヒューマログ
6. インフリキシマブ	△	レミケード
7. エタネルセプト	○	エンブレル
8. エポエチンアルファ	○	エスポー
9. ソマトロピン	×	ジェントロピン
10. ダルベポエチン	○	ネスプ
11. テリパラチド	○	フォルテオ
12. トラスツズマブ	○	ハーセプチン
13. フィルグラスチム	△	グラン
14. ベバシズマブ	△	アバスチン
15. ラニビズマブ	○	ルセンティス
16. リツキシマブ	○	リツキサン

バイオ後続品導入初期加算

→ } → → →

バイオ後続品導入初期加算(150点)

リスプロ®BS注ソロスターHU

2020年4月～2021年9月

① 患者数	189名
② 算定患者	33名(65件算定)
①-②	156名

算定率 $65\text{件} / (189\text{名} \times 3\text{月}) = 11.5\%$

約75万円の算定漏れ

「医師 ← 病院薬剤師 ⇄ 薬局薬剤師」連携が必要

医療費の削減にご協力をお願いします

バイオシミラーへの切り替えを推奨しております

バイオシミラー: インスリンなどのお薬のうち、先に発売された同じ成分のお薬の特許が切れた後に他の製薬会社から製造・発売されるお薬。

STEP
1

有効性と安全性

バイオシミラー



先行バイオ医薬品



バイオシミラーの有効性と安全性は
先行バイオ医薬品と同等・同質

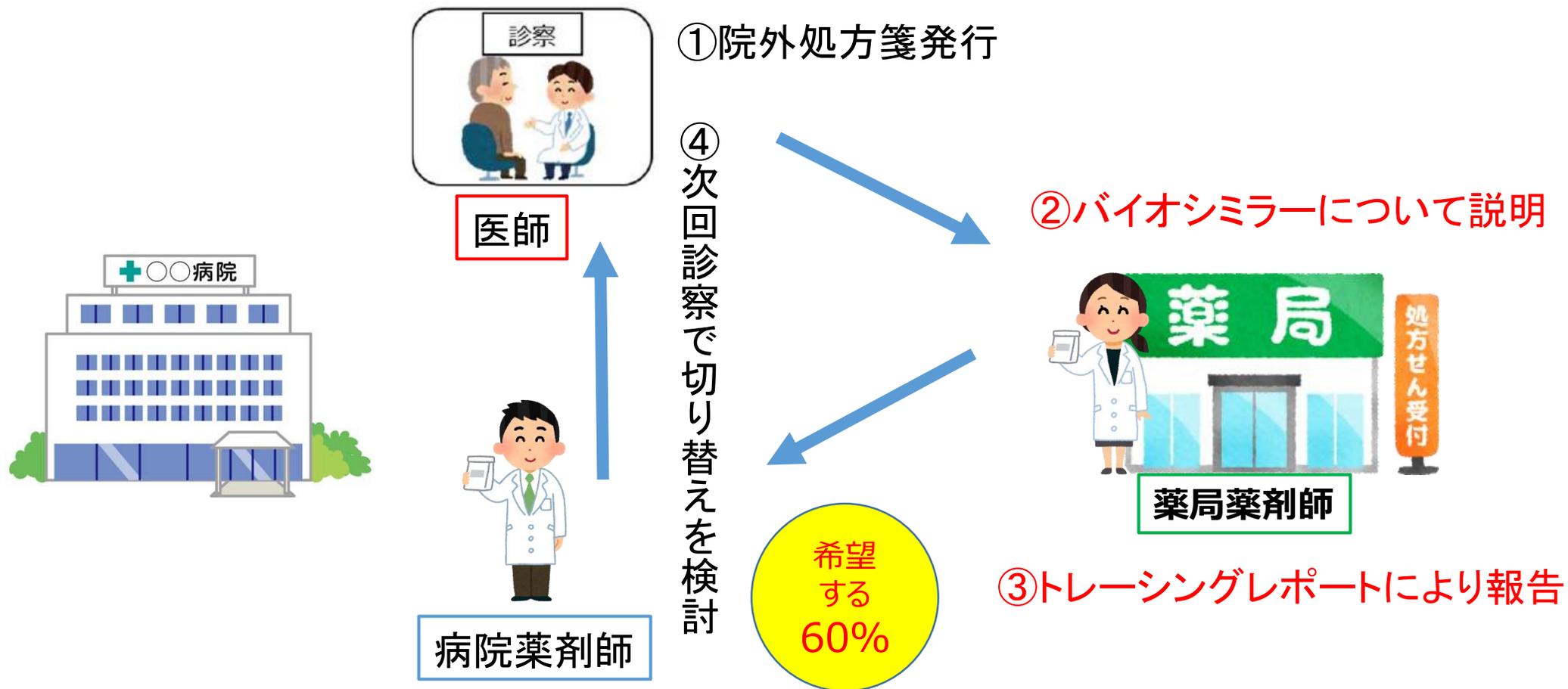
STEP
2

薬 価



バイオシミラーは先行バイオ医薬品よりも
少ない医療費の負担で使用することができます

インスリン製剤のバイオシミラー切り替え手順



リフィル処方の実施によって

1. 受診回数の減少により減収の可能性
2. 働き方改革の実現(外来診療時間の短縮)
3. 薬局薬剤師の職能拡大・業務の見える化

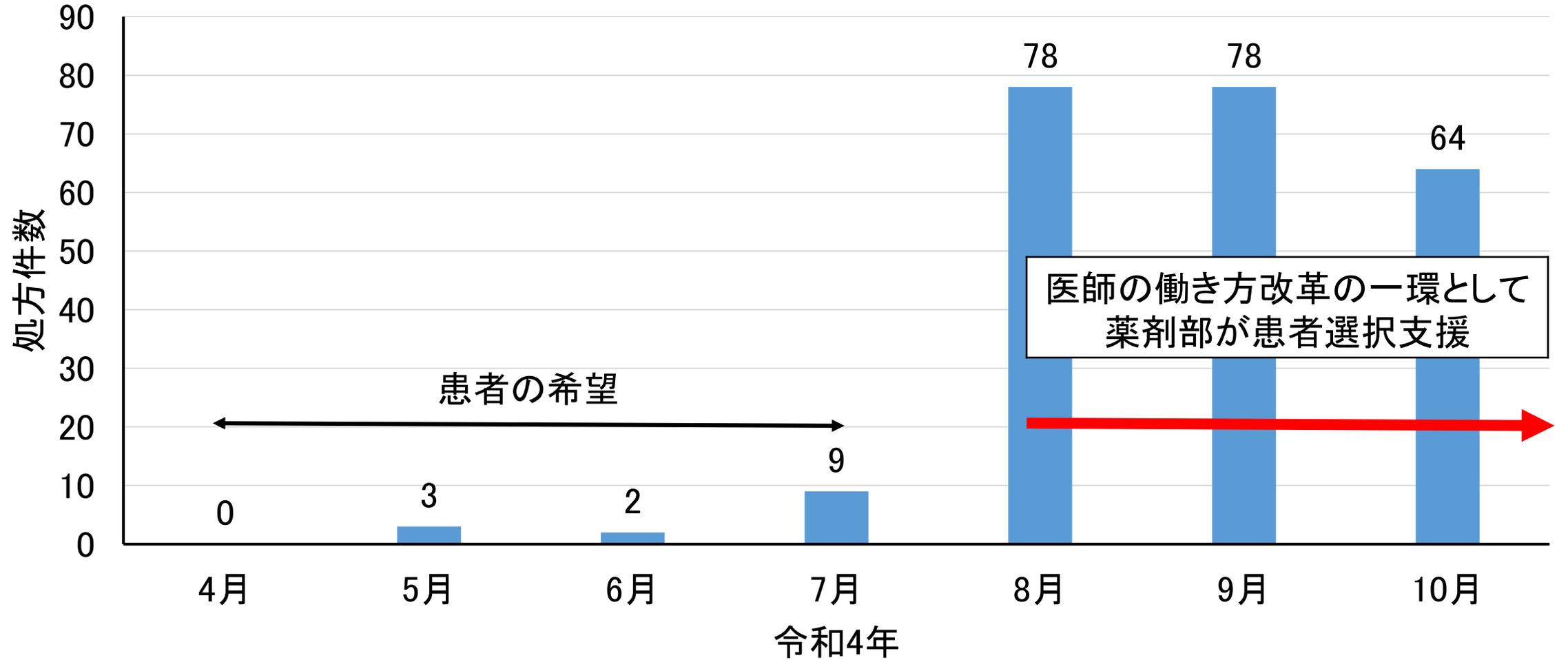
院内では内緒にしていますが



薬剤部から働き掛け

小児科、耳鼻咽喉科、内分泌糖尿病内科、乳腺外科から
ホルモン剤を中心に2回までで開始(約70枚/月)

福岡大学病院におけるリフィル処方箋発行状況



リフィル処方患者

75歳、男性、福岡大学病院循環器内科に通院中

8月5日 60日×2回分のリフィル処方

10月4日 2回目の調剤

薬局でチェックできる検査値・初期症状

Rp 1)	リバーロキサバン	15 mg	1回1錠			出血、肝障害、間質性肺疾患
	テルミサルタン	40 mg	1回1錠			血圧、血管浮腫
	アムロジピンOD	2.5 mg	1回1錠	1日1回	朝食後	血圧
2)	メチコバル	500 μ g	1回1錠	1日3回	毎食後	末梢神経障害
3)	プラバスタチン	5 mg	1回1錠	1日1回	夕食後	横紋筋融解症
4)	カルベジロール	1.25 mg	1回1錠	1日2回	朝・夕食後	心不全症状、 β 遮断薬の副作用

リフィル処方を調剤した際のトレーシングレポート記載例

〇〇 ☆☆ 先生

平素より大変お世話になっております。

本日、リフィル処方に基づいて2回目の投薬を行いましたので、報告いたします。

変化がない ⇒ 診察していない医師が知りたい情報

患者名 ●●
ご報告

継続的経過観察の結果をトレーシングレポートで報告(薬局業務の見える化)

リバーロキサバン服用中ですが、出血、食欲不振や倦怠感等の肝障害を疑う症状、呼吸苦等の間質性肺疾患を疑う症状はみられていません。

重大な or 頻度の高い副作用の初期症状

薬局で確認可能な
検査値

テルミサルタン、アムロジピン服用中で、血圧は120/70 mmHg前後で推移しています。

また、口唇等の限局的肥厚や咽頭の閉塞感といった血管浮腫を疑う症状はみられていません。

メチコバルにより、しびれ等の末梢神経障害の増悪はみられていません。

プラバスタチン服用中ですが、筋肉痛や倦怠感等の横紋筋融解症を疑う症状はみられていません。

カルベジロールによるめまい、徐脈、四肢冷感等の症状はみられておらず、心不全症状の増悪もみられません。

薬局で確認可能な治療経過

△△薬局 ■■ □□

福岡大学病院
外科
殿

令和4年〇月〇日
〇〇薬局
電話
FAX

リフィル調剤後のトレーシングレポートの例

患者氏名	
性別	
住所	
電話番号	

情報提供の概要

以下のとおり、情報提供いたします。

情報提供の概要
8月30日処方のリフィル処方箋2回目を調剤しましたのでご報告

8月30日処方のリフィル処方箋2回目を調剤しましたのでご報告いたします。

処方薬の情報
アリミデックス錠1mg 1日1回 朝食後 90日分

処方薬の情報

アリミデックス錠1 mg 1日1回 朝食後 90日分

併用薬剤等（要指導・一般用医薬品、医薬部外品、いわゆる健康食品を含む。）

処方薬剤の服用状況（アドヒアランス及び残薬等）に及びそれに対する指導に関する情報

患者、家族又は介護者からの情報

医師が知りたい情報

「薬は毎日飲めています。目立った体調変化もなく、問題なく服用はできています。（以下省略）」

患者、家族又は介護者からの情報（副作用のおそれがある症状及び薬剤服用に係る意向等）
「薬は毎日飲めています。目立った体調の変化もなく問題なく服用はできています。薬が無く、薬局が空いていなかったため今回は新生堂薬局に処方箋持ってきました。」

薬剤に関する提案

その他

その他
服薬状況、体調変化等には問題はなかったためリフィル2回目の調剤を行いました。

服薬状況、体調変化等に問題なかったためリフィル2回目の調剤を行いました。

入院患者に対する薬薬連携

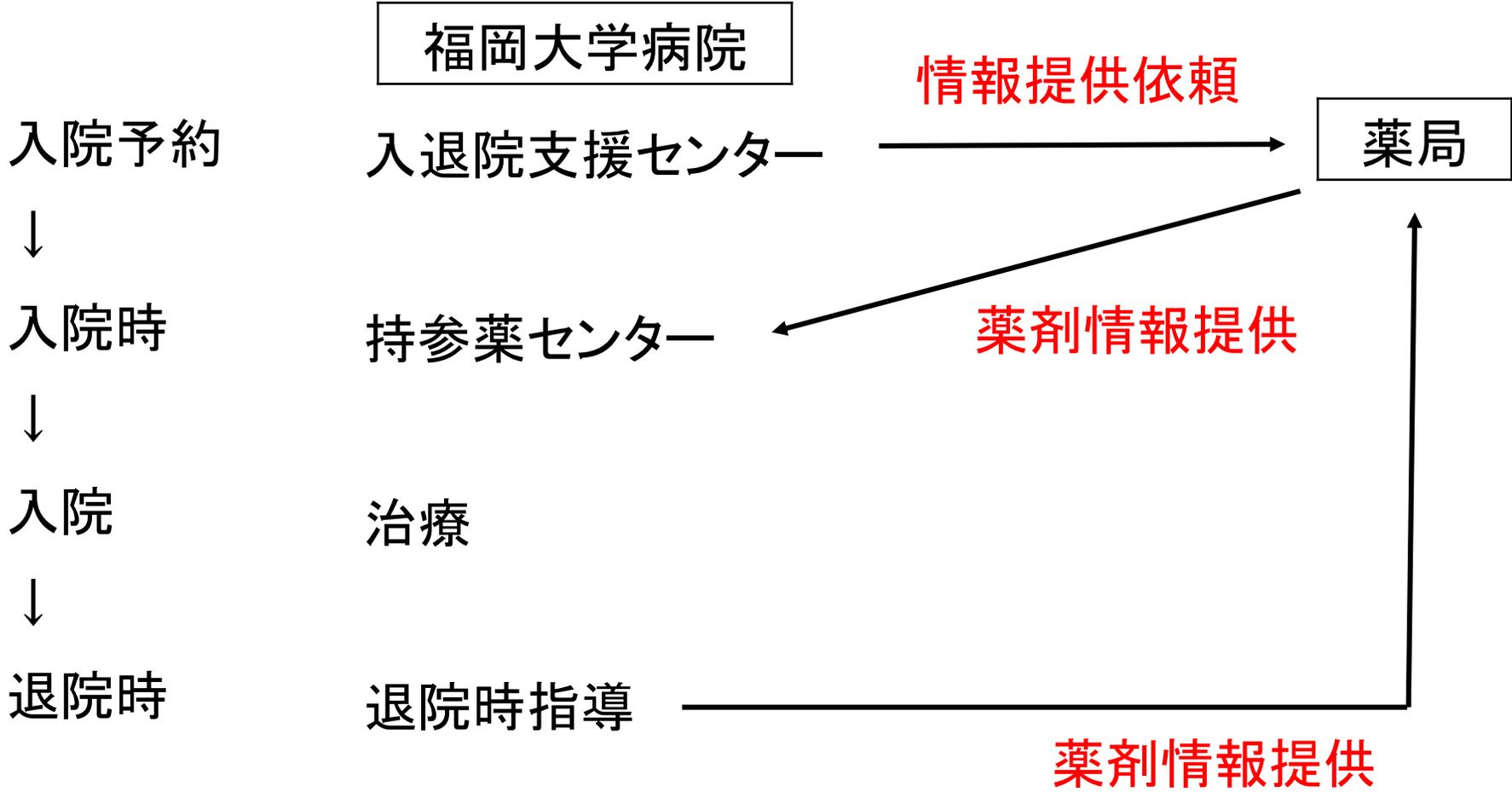
服薬情報等提供料3

退院時薬剤情報連携加算



つくしちゃんファミリー
筑紫野市マスコットキャラクター

入院医療における薬薬連携



薬局との連携強化に向けた取り組み～術前の情報共有～

①入院前の服薬支援依頼書

入院前の服薬支援依頼書

当院へ入院予定の患者様につきましてご対応をお願いします。

.....

・患者氏名： _____ 様 生年月日： ____年 ____月 ____日
 ・ID： _____
 ・入院予定日： ____年 ____月 ____日(日曜) ・手術日： ____年 ____月 ____日

 依頼内容

中止薬剤の確認と服薬支援
 手術予定に伴い、下記薬剤が中止となりました。
 中止期間における中止薬の整理ならびに中止薬についての指導をお願いします。なお、次回来病時は再開の確認をお願いします。

医薬品名	休薬開始日
1	<input type="checkbox"/> ____月 ____日 <input type="checkbox"/> 未定
2	<input type="checkbox"/> ____月 ____日 <input type="checkbox"/> 未定
3	<input type="checkbox"/> ____月 ____日 <input type="checkbox"/> 未定

※休薬開始日が未定の場合は、医師の指示を確認後、ご連絡します。
 連絡時に患者が来院した際にはお手数ですが、下記へ連絡をお願いします。

入院前の患者の服用状況等に係る情報提供の送付
 来病対応後の数日以内に送付をお願いします。

入院時に持参する薬の整理 (入院日数分くらい)
 『入院前に飲むお薬』と『入院中に飲むお薬』に分けて整理をお願いします。

.....

福岡大学病院 入院支援センター
 092-801-1011(代表) 内線 2247
 薬剤師： _____

②入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供書

入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供書

福岡大学病院
 入院支援センター(担当薬剤師 宛)
 TEL: 092-801-1011 (内線 2247/内線 8440)
 FAX: 092-802-8000

____年 ____月 ____日

服薬薬局の名称
 電話
 薬剤師氏名

____月 ____日より入院予定の下記患者について、情報提供いたします。

患者ID	患者氏名
性別	男・女
最終入院日	生年月日 ____年 ____月 ____日(歳)
副作用/アレルギー	年 ____月 ____日

1. 薬歴中の医療機関、診療所などに関する情報

番号	医療機関名称	診療科	備考
1			
2			
3			
4			
5			

2. 現在、使用中の薬 (自由記号の薬もすべて含む) ※お薬手帳の写しや薬剤情報提供書を送付して下さい。

自由記号の薬 (送付資料(年・ 冊))
 自由記号で記載された薬の名称 (年 → 送付資料(年・ 冊))
 送付資料に記載がない薬 (予定に記入)

医薬品名	用法・用量 (自由量・回数も明記)	備考

かかりつけの薬局に
①・②を渡してください



入退院支援センター

「服薬情報等提供料3 (50点)」

3ヶ月に1回算定可能

患者の同意取得後、文書にて回答



薬局

※服薬情報等提供料3

入院予定の患者について医療機関から情報提供の求めがあった場合、
 患者の服薬状況等を一元的に把握し情報提供することで算定できる調剤報酬

薬局との連携強化に向けた取り組み～入院前の情報共有～

入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供書

外来 ID: [REDACTED] 1943年12月24日
内分糖尿科 生保 本(0%) 昭和 18年12月24日
79歳8ヶ月



感染 アレキ 造
O型 Rh(+) 150.00cm 56.50kg

Prof カルテ閉じる

品 Medoc取込文書 23/07/28(金) エディタ(新規)

ナビゲータ ナビゲータ ヒストリカル
ブラウザ マルチビュー

- 23/08/19(土)消化外
- 23/08/18(金)消化外
- 23/08/17(木)消化外
- 23/08/16(水)消化外
- 23/08/15(火)消化外
- 23/08/14(月)消化外
- 23/08/12(土)消化外
- 23/08/11(金)消化外
- 23/08/10(木)消化外
- 23/08/10(木)麻酔科
- 23/08/08(火)消化外
- 23/07/21(金)消化外
- 23/07/21(金)麻酔科

2023年

- 看護師記録
- 処方(含削除)
- インフォームドコンセント
- 入院文書
- 看護申し送り
- 看護記録
- 薬剤師記録
- リハビリ
- 処方
- 注射
- 検体検査
- 細菌検査
- 生理検査
- 内視鏡
- 放射線検査
- 放射線治療
- 輸血
- 食事
- 処置
- 透析
- 病理
- 指導料
- DPC
- Medoc取込文書
- 23/09/05(火)同意書・説明書(共通)消化器
- 23/08/17(木)消化器内科
- 23/07/28(金)薬剤部
- 23/07/24(月)消化器外科消化器外科

入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供書

福岡大学病院薬剤部
入院支援センター担当薬剤師
TEL: 092-801-1011 (内線 2247/PHS 8440)
FAX: 092-862-8800

R5年7月27日

保険薬局の名称
電話番号
薬剤師氏名

8月9日より入院予定の下記患者について、情報提供いたします。

患者ID	[REDACTED]
患者氏名	[REDACTED]
性別	男
生年月日	1943年12月24日(79歳)
最終薬剤日	R5年7月24日
副作用/アレルギー	アスピリン10mg: 喘息発作、痛風発作、アレルギー性鼻炎 アスピリン100mg: 喘息発作、アレルギー性鼻炎 トピロメート 発疹あり

1. 受診中の医療機関、診療所などに関する情報

番号	保険医療機関名	診療科	備考
1	金谷内科クリニック		
2	アヲチ整形外科クリニック		
3			
4			
5			

2. 現在、使用中の薬(自局以外の薬もすべて含む) ※お薬手帳の写しや薬剤情報提供書を添付して下さい。

自局で調剤した薬: 添付資料 (有・無)

自局以外で調剤された薬の有無: 有 → 添付資料 (有・無)

添付資料に記載がない薬(下記に記入)

医薬品名	用法・用量(1日量・1回量を明記)	備考

3. 医師の指示による入院前の中止薬 (有・無)

医薬品名	中止日	服薬支援等対応
	月 日	<input type="checkbox"/> 一剤化からの抜き取り <input type="checkbox"/> 別薬袋 <input type="checkbox"/> 説明
	月 日	<input type="checkbox"/> 一剤化からの抜き取り <input type="checkbox"/> 別薬袋 <input type="checkbox"/> 説明
	月 日	<input type="checkbox"/> 一剤化からの抜き取り <input type="checkbox"/> 別薬袋 <input type="checkbox"/> 説明
	月 日	<input type="checkbox"/> 一剤化からの抜き取り <input type="checkbox"/> 別薬袋 <input type="checkbox"/> 説明

4. 自己調剤した薬(薬剤師による薬剤情報提供書と異なる場合に記載) (有・無)

自己調剤の内容

5. 患者の服用状況(アドヒアランスおよび服薬等) あてはまる項目に☑

調剤方法	<input checked="" type="checkbox"/> PTP <input type="checkbox"/> 一剤化 <input type="checkbox"/> 粉砕 <input type="checkbox"/> その他()
服薬管理者	<input checked="" type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 介助者 <input type="checkbox"/> その他()
コンプライアンス	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良()
健康食品・サプリメント	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> あり()

服薬状況に関する留意点
退院時の処方の際にお願
いしたいこと

6. 備考

[記載上の注意]

- 保険医療機関への情報提供にあたっては、「1」、「2」及び「3」を記載した上で、必要に応じて「4」又は「5」により、患者の処方状況を報告すること。
- 必要に応じて、備考欄に受診・通院目的を記載すること。
- 必要に応じて、手帳、血液検査の結果の写しなどを添付してください。

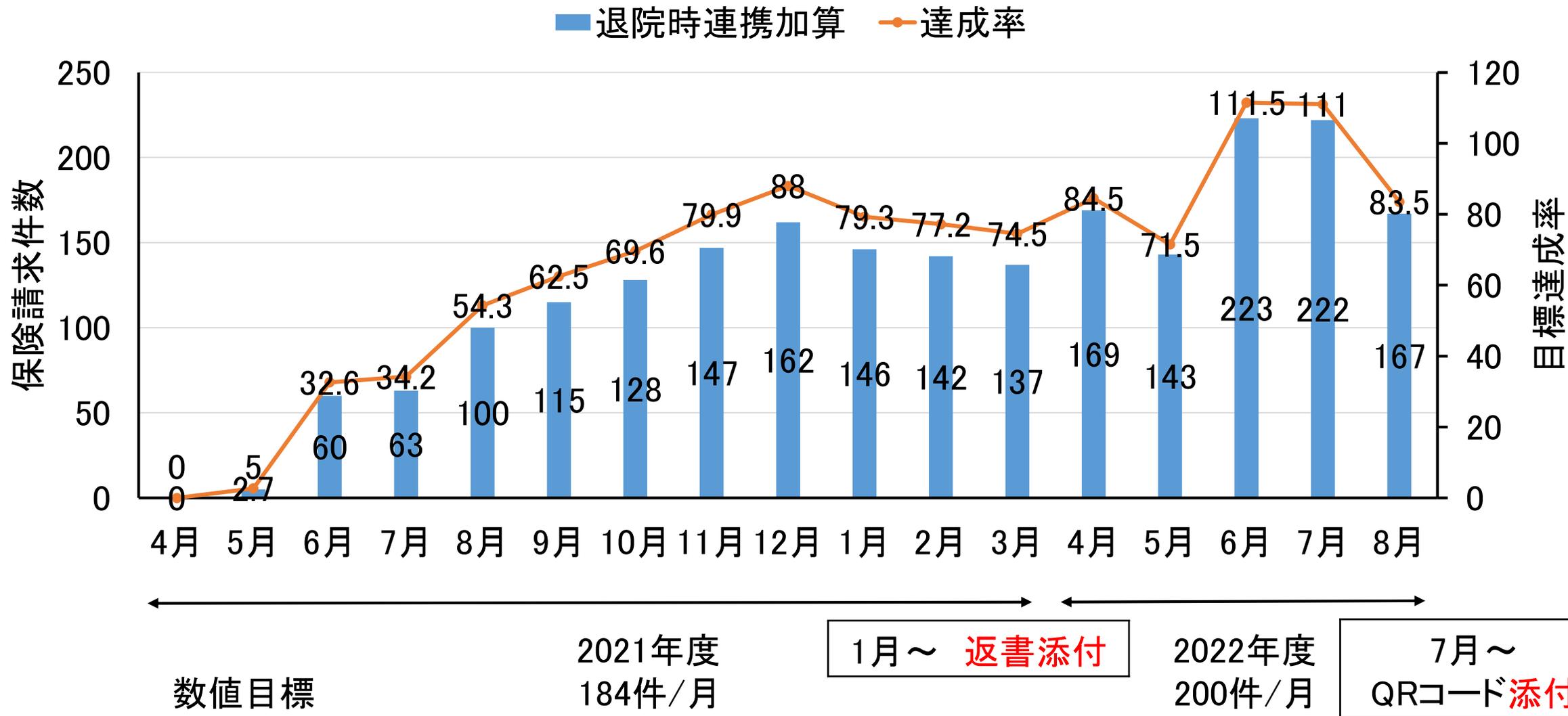


入院前の患者の服用状況等に係る
情報提供書

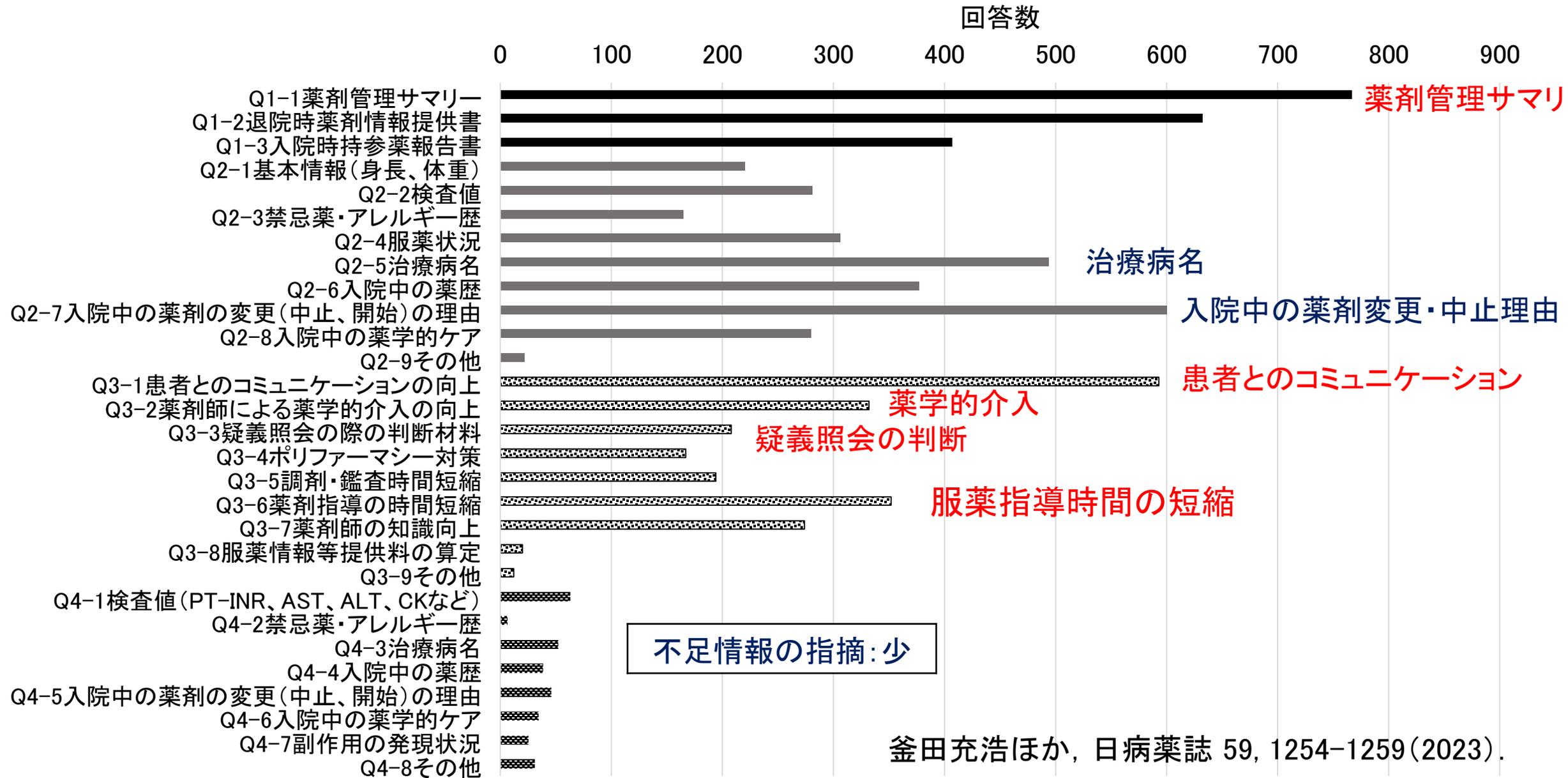
- 参照(MDVI)
- レシタ
- ルテ掲示板
- IS番号表
- 一覧
- カレンダー
- 射(カレン)
- 方受付
- 持確認
- er
- 選択患者一
- 記録(初回
- 記録(継続
- 記録(退院
- 記録(抗悪
- 記録(処方
- 理サマリー
- 文書一覧
- 小管理シス
- テ
- abRoad(患者
- aRoadWEB
- 3X
- WEB(患者
- 記録
- 理サマリー
- 理サマリー
- 記録(TDM)

退院時薬剤情報連携加算の算定推移

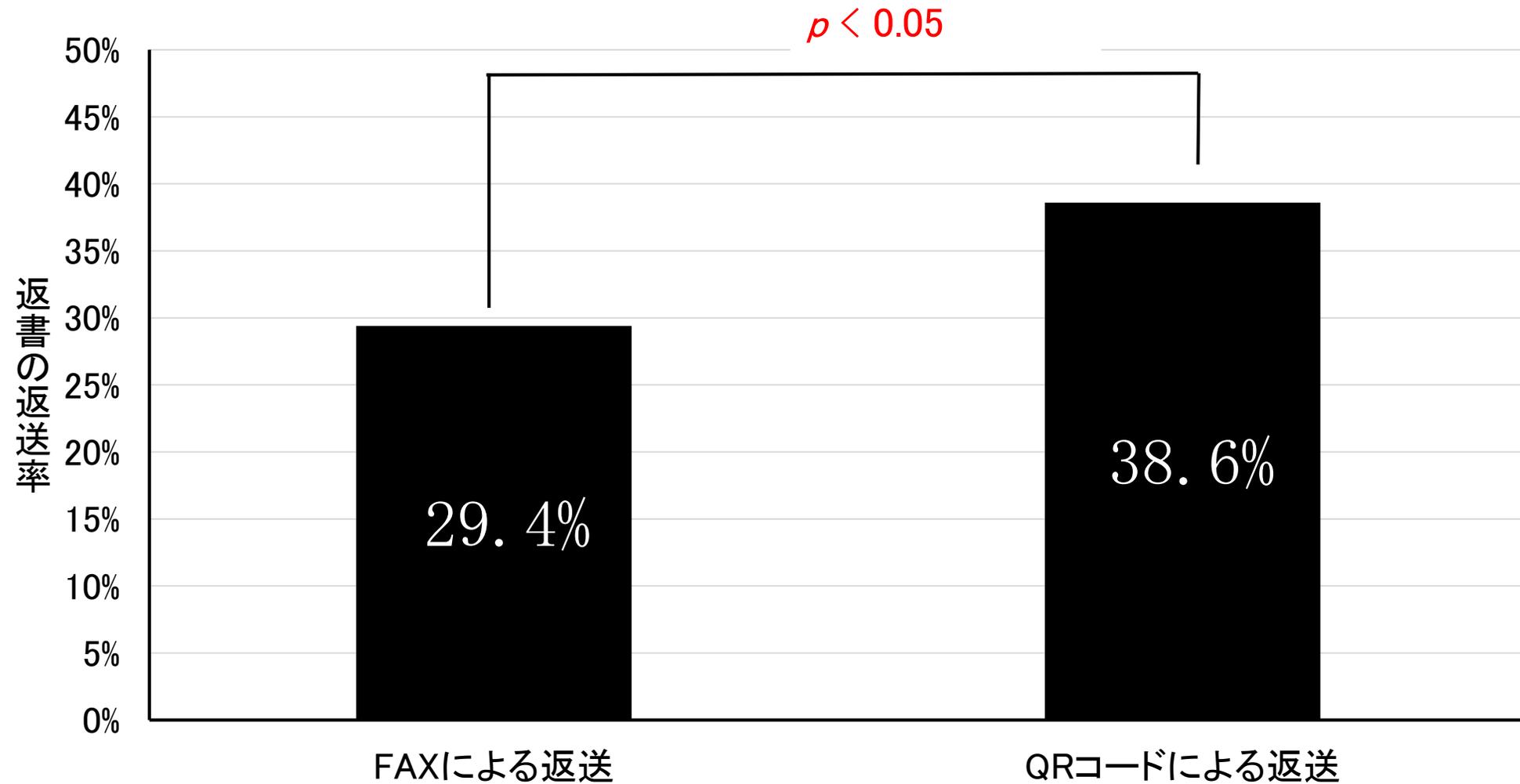
【算定要件(抜粋)】入院中に処方変更された患者について文書(薬剤管理サマリ)を薬局に提出



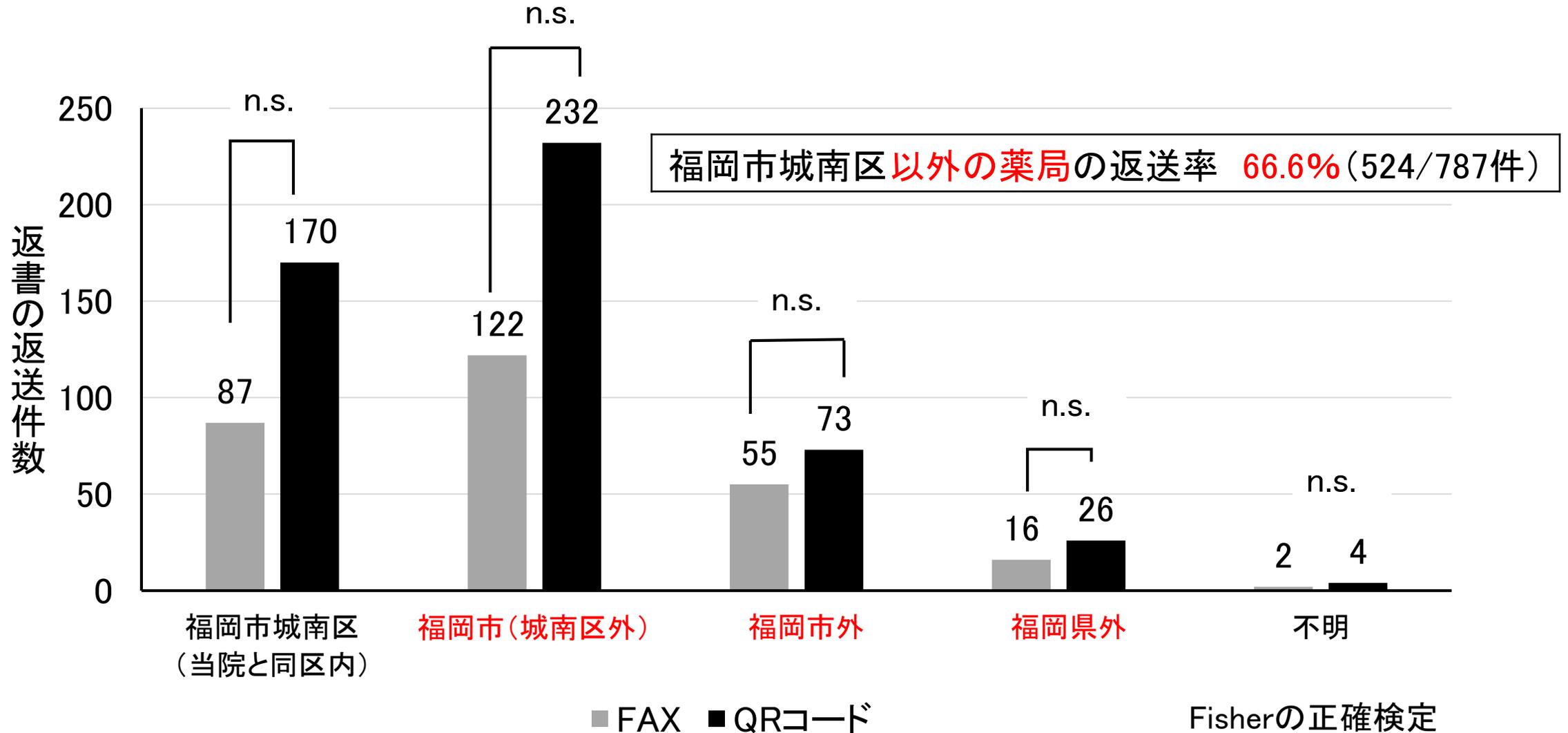
返書の回答内容



返書の返送状況



返書返送薬局の所在地



Take Home Message

薬局の先生方には、平素より大変お世話になっております。

現在、患者の多くは高齢者で、生活習慣病の薬物治療は長期に及びます。

このため、シームレスな薬薬連携なくして、薬物治療は成立しなくなっています。

今後ともよろしく願いいたします。



第18回

日本ファーマシューティカル コミュニケーション学会大会



薬学とコミュニケーションの融合による多職種連携の推進



開催日

2024年10月20日（日）

福岡県薬剤師会、福岡県病院薬剤師会に後援いただいています

【主なプログラム】

- | | |
|-----------|----------------------------|
| ランチョンセミナー | 原口 亨 先生: 医療DX関連 |
| シンポジウム 1 | 多職種連携に必要なコミュニケーションのスキルとツール |
| シンポジウム 2 | 医療DXでコミュニケーションは変わるのか |